

ボラマガ

～ボランティアセンターマガジン～

平成27年8月15日号 第25号

発行 社会福祉 神栖市社会福祉協議会 ボランティアセンター
法人
〒314-0121 神栖市溝口1746番地1
TEL : 0299-93-1029 FAX : 0299-92-8750
ホームページ <http://www.kamisushakyo.com/vc/>
※ホームページでは、この広報紙に掲載している写真をカラーでご覧になれます
メールアドレス mail@kamisushakyo.com



神栖市内で活動するボランティア ハッチ よっちょれ会

8月5日、神栖市保健・福社会館の研修室で「よっちょれ」を踊る“ハッチよっちょれ会”。人々の動きとそれが生み出す音に加え、踊っているメンバーの笑顔が印象的です。

「よっちょれ」は、よさこい踊りの定番曲のひとつです。メンバーのひとりが、出身地である北海道でこの曲に出会い、障害児・者とその家族も参加しやすい活動として、よっちょれ踊りを選びました。

“よっちょれ会”が大切にしているのは、楽しくいられる場所であること。動きが揃っていることや正確であることより、笑顔で踊りを楽しめることを優先しています。

踊りは多くの人に参加できる活動

「老いや障害にかかわらず、それぞれのできる範囲で楽しめるのが、踊りの良い所だと思います。聴覚障害のある方も参加していますが、音が聞こえなくても周りの人の動きを見て踊ることで、楽しむことができます。振り付けも、多くの人踊れるよう、覚えやすく、やさしい動きにアレンジしています。」と代表の早田さんは話します。

“よっちょれ会”がもう一つ大切にしているのは、練習の成果を発表する場を作ることです。日ごろの練習の成果を見てもらい、拍手をいただくことで、今後の活動の活力になります。今年4月2日の世界自閉症啓発デーにはイオンモール水戸内原で“よっちょれ”を披露しました。8月は、市内の障害者施設の納涼祭で発表する予定です。



練習とは思えない気合い！会場に鳴子、鈴、和太鼓の音が鳴り響きます。

裏面に続く

みんなが集まれる場所として

“よっちょれ会”は、特別支援学校に通学する児童、障害児・者とその家族の余暇活動の場であるとともに、仲間づくり、友達づくりの場としての顔も持っています。休憩時間の様子も、ゆったり、和気あいあいとしたものです。メンバーのひとり「踊ることも楽しいけれど、集まった仲間との交流も同じくらい楽しい」と話します。

メンバーのみなさんに、今後の目標についてお聞きしました。「大きな目標は、北海道で開催されている“YOSAKOIソーラン祭り”に出場すること。身近な目標は、みんな健康で楽しく活動を続けること」と元気に語ってくれました。



ハッチよっちょれ会では会員を募集しています。
年齢や障害の有無にかかわらず楽しめる活動です。
神栖市及び周辺にお住まいの方、ご参加ください。
問合せ ハッチよっちょれ会 代表 早田恵子
電話：090-9017-0052

取材日に集まったメンバーで撮影。
神栖市以外に、鹿嶋市、潮来市から活動に参加する方がいます。

オトコ・60代限定！

輝くための“男”の講座



を開催します！

60代は、仕事に区切りがつき、ゆったりと自分の時間を楽しめる方が増える年代です。リラックスして、自分の好きなことをして第二の人生を満喫したいものです。

今回は、セカンドライフの充実を目的として、男性の趣味として今注目されている“DIY”と“料理”に触れることができる全3回の講座を開催します。ぜひ、ご参加下さい。

開催日時・内容

1日目 10月2日(金) 9:00～12:00 DIY講座 パート1 網戸の張り替えにチャレンジ！ コツさえつかめば、ご自分でもホームセンター等で揃えた材料で網戸をきれいに張り替えることができます。愛着のある我が家をもっと輝かせてみませんか？ 講師:シルバー人材センター会員 持ち物:網戸2枚(自宅にある物)、 カッター、ツインローラー	2日目 10月14日(水) 9:00～12:00 DIY講座 パート2 まな板づくり ～かんなの使い方～ まな板は、木の板を切り、かんなで仕上げて完成します。手順がシンプルなので日曜大工の第一歩に最適です。こだわりのまな板を自作しませんか？ 講師:シルバー人材センター会員 (元建具職人) 持ち物:かんな、かなづち	3日目 10月28日(水) 9:00～15:00 プロに学ぶ“男”の料理！ そば打ちに挑戦！ そば打ちは、自分で打ったそばを友人や家族と味わえ、作るほど技術が向上するため、趣味で楽しむ人が増えています。今回はプロのそば職人がレクチャーします。 講師:二八そば越後店主 水島義治氏 持ち物:エプロン、三角巾、 2日目に作ったまな板
---	--	---

会場：1・2日目 神栖市シルバー人材センター ワークプラザ（神栖市溝口4991-5）

3日目 神栖市保健・福祉会館 栄養実習室（神栖市溝口1746-1）

定員：20名（先着順）

対象者：60歳以上の男性（定年前の方も大歓迎です）

参加費：1,000円

【申込・問合せ先】ボランティアセンター

■神栖本所 0299-93-1029（担当：下田）

■波崎支所 0479-48-0294（担当：横田）

シリーズ

おじやまします♥わくわくサロン

わくわくサロン知手団地 編

7月13日(月)、知手東町区民館で開催された「わくわくサロン知手団地」は、集まった25人が童謡「たなばたさま」を歌ってスタートしました。笹飾りには“元気で長く生きられますように” “孫が元気に生まれますように” “スリムになりたい”などの願いが書かれた短冊が掛けられています。サロン代表の浮田さんは「何歳になっても、願いはあるもの。いつまでも元気にサロンに来られるといいですね。」と参加者へ声を掛けました。

このサロンの特色のひとつは、平成14年から毎月発行されている会報紙です。「サロンの楽しい思い出を記録に残したい、休んだ人にもサロンの出来事を伝えたい。」と考えた浮田さんは会報「わくわく」を作り、サロンのメンバーに配布するようになりました。

集まる人たちの愛着や工夫によって、楽しい時間が積み重なります。「わくわく」は発行から145号を数え、わくわくサロン知手団地は8月に18周年を迎えました。



認知症予防になる「フリフリグッパー体操」に挑戦！
「青い山脈」の音楽に合わせてリズムカルに手を叩き、お尻を振って盛り上がりました。

サロンは、家に閉じこもりがちな地域の高齢者や障害者、子育て中の親子などが身近な場所に集まって気軽に楽しい時間を過ごす活動です。神栖市社協では、わくわくサロンづくりと運営のお手伝いをしています。

お問い合わせは 神栖市社協 神栖本所 0299-93-1029(担当:下田) 波崎支所 0479-48-0294(担当:横田)まで



赤い羽根 共同募金

募金に協力して下さるお店・事業所等を募集します

赤い羽根共同募金運動が今年も10月から全国一斉に始まります。子どもから高齢者まで、多くの市民の皆様が身近な場所で自由に募金できるよう、下記の協力をして下さる店舗・事業所様を募集します。

①募金箱をお店のレジ近くや窓口付近に設置

お店に設置した募金箱で、市民の皆さんに気軽に募金に参加していただくものです。昨年度は、市内220か所の募金箱に総額533,680円が寄せられました。今年度は250か所以上設置を目標としています。

ご連絡いただければ赤い羽根などの資材、募金箱を持って職員が協力店様を9月中旬に訪問させていただきます。羽根、風船の補充も本会職員が行いますので、協力店様に費用負担はありません。

②職場での募金活動

職場に設置した募金箱で、社員の方々を中心に募金活動に取り組んでいただきます。



募金箱募金、職場での募金の運動期間
平成27年10月1日～平成27年12月31日

問合先:茨城県共同募金会神栖市支会(神栖市社協内)
神栖本所 電話 0299-93-0294 担当:名雪
波崎支所 電話 0479-48-0294 担当:篠塚

③「募金ができる自動販売機」の設置

(問合先:茨城県共同募金会 電話 029-241-1037)

打合せスペースや社員食堂、休憩所などに清涼飲料水の自動販売機を年間を通じて設置させていただきます。

その売上の一部が共同募金として寄付されます。



④行政区での募金活動

行政区単位で募金に取り組んでいただくものです。ご連絡をいただければ、社協職員が赤い羽根やチラシなどの資材を持って、説明に伺います。

<集まった募金は下記の事業に使われます>

募金は茨城県全体の福祉の充実と神栖市の下記の地域福祉事業に活用されます。

- 一人暮らし高齢者を対象とした「さわやか会食会」
- 福祉・介護・医療の仕事に関心のある高校生を対象に開催する「進路アシストカレッジ」

○小中学校、企業を訪問しての「福祉教育出前講座」
ボランティアセンターマガジン | 3

お知らせ



子育てサロン 子育てふれあい広場『ひよこ』

子育てふれあい広場ひよこは、親子体操や手遊び、ママ同士で育児の情報交換などをしながら、楽しい時間を過ごしています。8月、9月は下記の日程で開催します！ぜひ、お子さんと一緒に遊びに来て下さい。9月に予定しているミニコンサートでは、おなじみの名曲をリコーダーで演奏します！

日時：平成27年8月20日（木）、9月24日（木） 10:00～11:30 事前申込み不要
場所：市保健・福祉会館 集会室B 参加費：無料 対象者：子育て中の親子（年齢は問いません）

【お問い合わせ先】 保育サポーターひよこ 代表:田中 TEL 0299-93-0603
ボランティアセンター 担当:下田 TEL 0299-93-1029

神栖おもちゃ修理ボラ ～大切なおもちゃを直します～



「神栖おもちゃ修理ボラ」は、“ものを大切に作る気持ち”を伝えたいとの思いから、定年退職したお父さんたちが、長年培った技術を活かしておもちゃ修理の活動を行っています。思い出のあるおもちゃ、修理してまた遊んでみませんか？

日時：毎月第1月曜日 午前10時～12時
上記活動日以外にも事前にお預かりできます。

場所：神栖市保健・福祉会館 2階 交流サロン

費用：作業料は無料 部品代のみ実費

問合先：ボランティアセンター神栖本所(担当:下田) TEL 0299-93-1029

修理方法等、依頼者と相談しながら進めますが、破損や摩耗等の状態によっては修理できない場合があります。また、修理中におもちゃが故障してしまった場合の補償はいたしかねます。ご了承下さい。



神栖市立中央図書館より 「赤ちゃんタイム」ボランティア募集！

中央図書館では、小さな子ども連れでも気兼ねなく図書館を利用できるよう、赤ちゃんが泣いたり、幼児がおしゃべりしてもよい「赤ちゃんタイム」を設けています。この時間帯に保護者がゆっくり本を探したり、読んだりできるよう、お子さんを抱っこしたり、一緒に遊んだりサポートしてくれるボランティアを募集しています。なお、絵本の読み聞かせボランティアも同時に募集しています。

活動日時：毎週木曜日 午前10時～12時(赤ちゃんタイム)

(読み聞かせは午前11時からです)

活動場所：神栖市立中央図書館

応募資格：図書館の仕事に関心と理解がある16歳以上の方
(18歳未満は保護者の同意が必要です)

申し込み方法：図書館ボランティア申込書に記入の上、直接図書館に提出して下さい。
(申込書は、図書館に備え付けてあります。また、神栖市ホームページからダウンロードもできます)

問合先：神栖市立中央図書館 TEL 0299-92-3746

